

今回の地震災害による犠牲者の皆様に衷心より哀悼の意を表します。

3月11日、史上最大規模の地震が東北・関東を襲いました。区内では大きな被害はありませんでしたが、地震、津波、原発事故とその後、次々に明らかになってくる被害の実態を見聞きするほどに事の重大さを思い知らされました。本稿を書いている今(18日)もなお、原発事故がどう推移するのか、計り知れない状況です。

中野区が姉妹提携し、区立常葉少年自然の家がある福島県の田村市は、地震そのものの被害は大きくなかったものの、原発の近くの大熊町から避難者を受け入れています。当初は1万人に上りました。区では、被災の日から市と連絡を取り合い、14日以降、連日、職員を派遣し実情を把握しな

がら、物資等、出来る限りの支援を行っています。

未だ被害の全体像は明らかになっていませんが、町が「壊滅」と報じられている地域も多く、第2次世界大戦以来の国難と言うべき状況です。交流25周年の北京市西城区や昨年姉妹区になったソウル市陽川区からも、お見舞いのメッセージが届いています。陽川区長は電話で、大きな被害のなかでも人々が、整然と助け合っ

て行動している姿に感動したと言ってくれました。家族を失い、家や財産を無くした悲嘆のなかから、たくましく立ち上がり始めた人々を見るにつけ、国民が挙げて復興に取り組まなければと思います。区としても、今後被災地域を全力で支えて行く決意です。

区長 田中 大輔
たなか だいすけ



「第58回 TBS こども音楽コンクール」で
**大妻中野中学校合唱部が
全国第1位に**

大妻中野中学校(上高田2-3-7)合唱部が、昨年に続き「第58回 TBS こども音楽コンクール」中学校合唱部門で全国第1位(文部科学大臣奨励賞)を獲得しました。

コンクールでは、ハビエル・ブスト「夜の肖像」から希望」を、女声四部で合唱したそうです。

全国第1位となったことをたたえて、3月9日、田中区長から合唱部の代表として部長の櫻井園子さんと副部長の川崎愛久さんに、表彰状が授与されました。



大妻中野中学校3年生 ☆学年は取材当時(平成22年度)のものです

合唱部部长 櫻井園子さん(右)
副部長 川崎愛久さん(左)

昨年も賞をいただいているので、「先輩の残してくれた伝統を守ろう」という重圧で、私たちも不安がありました。今年も賞をいただくことができ、自分たちの代もそれを果たせたことで少し自信が持てました。今まで努力してきた成果が出て、とてもうれしいです。

ほとんど休みが無くて練習は大変ですが、歌うことが大好きだし、努力の分だけ結果が出ることを今までのたくさんの経験から分かっているので、部員みんなで頑張っています。

大妻中野中学校教頭・合唱部顧問

宮沢雅子先生

今年も素晴らしい結果を出すことができ、本当にうれしいです。生徒たちが日ごろからどんなに頑張り、貴重な時間と体力を注いでいるかを分かっているので、それを感動の瞬間に代えてあげることが自分の使命だと思っています。

努力の結果が、いつもうれしいものにつながるとは限らないけれど、高い目標に向かって部員全員で心をつなげるという経験からは、賞以外にもたくさんの貴重な成長のエネルギーを得ることができます。このような機会を与えていただき大変感謝しています。

次号予告

〈特集〉防犯の取り組み

区内の主な駅などで
外国語版区報(4月1日号)配布中